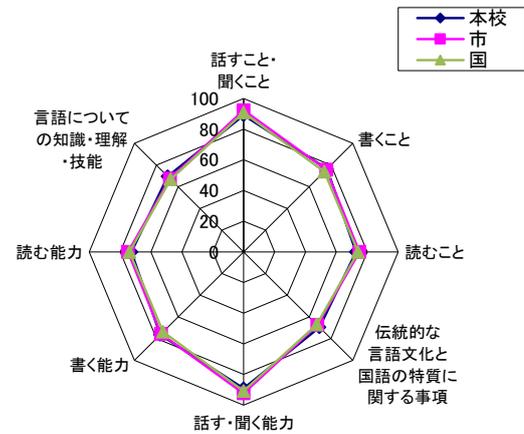


宇都宮市立桜小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

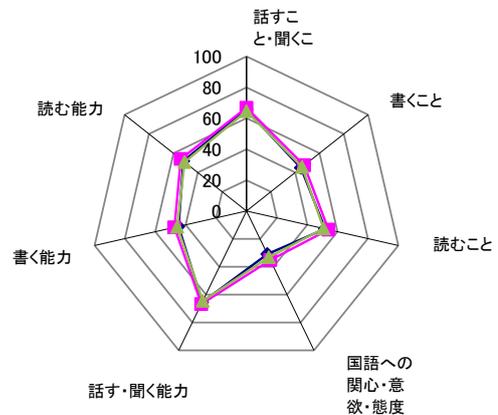
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	89.1	92.4	90.8
	書くこと	76.4	75.7	73.8
	読むこと	72.7	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.5	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	89.1	92.4	90.8
	書く能力	76.4	75.7	73.8
	読む能力	72.7	74.9	74.0
	言語についての知識・理解・技能	69.5	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	65.5	66.8	64.6
	書くこと	44.7	47.4	45.6
	読むこと	51.8	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	30.9	35.2	33.2
	話す・聞く能力	65.5	66.8	64.6
	書く能力	44.7	47.4	45.6
	読む能力	51.8	54.0	50.8
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●A・Bともに、国や市の正答率を少し下回っている。 ○話し合いの参加者として、質問の意図を捉える問題では、市や国の正答率を上回っている。	・話し手の意図を考えて聞く力についてはついてきているので、自分の意見と比べながら考えることができるように、話し合い等の活動の前に自分の考えをまとめる活動に力を入れる。
書くこと	○Aでは、市や国の正答率を上回っている。 ●Bでは、市や国の正答率を下回っている。特に、目的に応じて、内容の中心を明確にして書く問題の正答率が低くなっている。	・授業の中で、書く活動が少しずつ充実してきているので、目的や意図に応じた文章が書けるように、教科内だけでなく、特別活動等の行事や活動とも関連させながら「書く活動」を充実させていく。
読むこと	●A・Bともに、国や市の正答率を少し下回っている。 ○目的に応じて、複数の文章から選択する問題では、市や国の正答率を上回っている。	・目的に応じて文章を書く活動時に、今後も図書室等を利用し、複数の資料や本などが活用できるようにしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○市や国の正答率を上回っている。 ●主語と述語の関係、適切な敬語の使い方の問題の正答率が60%に達していない。	・今後も漢字の読み書きの習熟を図る。 ・言葉や文法等の問題の習熟を図る。